

書き方見本

様式第1号（第4条関係）

（表 面）

指定給水装置工事事業者指定申請書

茨城県南水道企業団

企業長 ○○ ○○ 殿

申請書を提出する日

○○年○○月○○日

※申請者欄ゴム印又は手書きで謄本どおりに略さず記入
 ・(株)→株式会社
 ・2-1-3→2丁目1番3号
 ・代表取締役 ○○○○
 ※郵便番号、電話番号を必ず記載してください。

フリガナ ケンナンセツビコウギョウ
 申請者 氏名又は名称 県南設備工業 株式会社
 住 所 〒○○○-○○○
 ○○市○○町△丁目△番△号
 代表者氏名 代表取締役 県南 太郎
 電 話 番 号 ×××-×××-××××

水道法第16条の2第1項の規程による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員（業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者）の氏名	
フリガナ 氏 名	フリガナ 氏 名
代表取締役 県南 太郎	※定款もしくは登記簿謄本の目的欄に記載の事業を記入
取 締 役 スズキ ジロウ 鈴木 次郎	
取 締 役 ケンナン イチロウ 県南 一郎	
監 査 役 ケンナン ハナコ 県南 花子	
事業の範囲	<ol style="list-style-type: none"> 上下水道及び給排水工事の施工 冷暖房及び空調設備工事の施工 浄化槽及び衛生設備工事の施行
機械器具の名称、性能及び数	別表のとおり

（備考）この用紙の大きさは、A列4番とすること。

(裏 面)

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	県南設備工業 株式会社
上 記 事 業 所 の 所 在 地	〇〇市〇〇町△丁目△番△号
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
<p style="text-align: center;">鈴木 次郎 県南 一郎</p> <p style="text-align: center;">※選任している主任技術者の免状 の写しを添付してください。</p>	<p style="text-align: center;">免状番号 第 1002000 免状番号 第 1001999</p>

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	
上 記 事 業 所 の 所 在 地	
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

機 械 器 具 調 書

指定申請書の日付と同じ

〇〇年〇〇月〇〇日現在

種 別	名 称	形式、性能	数 量	備 考
管切断用器具	管切断機	形式及び型番を記入 φ13～φ50 適用	1	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> ※給水装置 工事の基準 となる機械 器具です </div>
"	金切りのこ		5	
管の加工用器具	鋼管ねじ切り機	形式及び型番を記入 φ13～φ150 適用	1	
"	手廻しねじ切り機	φ13～φ20 適用	3	
"	ヤスリ (平)		5	
"	ヤスリ (丸)		5	
"	リーマ (面とり)		2	
接合用の器具	トーチランプ	型式等を記入	3	
"	パイプレンチ	型式、対応口径等	3	
"	"	"	2	
"	ウォータープライヤー		3	
水圧試験器具	水圧テストポンプ	型式等を記入	1	
※掘削の機械器具 (ミニバックホー、スコップ等) は基準以外のものですので、記入し なくて結構です。				

(注) 種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、

水道法第25条の3第1項第3号イからへまでの

いずれにも該当しない者であることを誓約します。

申請書を提出する日

〇〇年〇〇月〇〇日

申 請 者

氏名又は名称 県南設備工業 株式会社
住 所 〇〇市〇〇町△丁目△番△号
代表者氏名 代表取締役 県南 太郎

茨城県南水道企業団
企業長 〇〇 〇〇 殿

※申請者欄ゴム印又は手書きで
謄本どおりに略さず記入
・(株)→株式会社
・2-1-3→2丁目1番3号
・代表取締役 〇〇〇〇

(備考) この用紙の大きさは、A列4番とすること。

茨城県南水道企業団指定給水装置工事事業者 確認事項（更新）

茨城県南水道企業団
企業長 ○○ ○○ 殿

※ゴム印又は手書きで謄本どおりに略さず記入

- ・(株)→株式会社
- ・2-1-3→2丁目1番3号
- ・代表取締役 ○○○○

※郵便番号、電話番号を必ず記載してください。

○○年○○月○○日

氏名又は名称 県南設備工業 株式会社
住 所 〒○○○-○○○○
○○市○○町△丁目△番△号
代表者氏名 代表取締役 県南 太郎
電 話 番 号 ×××-×××-××××

茨城県南水道企業団が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去5年以内）

受講年月日（ホームページ公表： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可）
○○年 ○月 ○日 ・ 未受講
（未受講の場合、その理由） ※非公開

指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください。）（ホームページ公表： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可）		
休業日：日曜日、正月三が日 GWに連休	営業日：月～土	修繕対応時間：8時～17時 17時以降は要相談
漏水等修繕対応の可否：該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能です。 （ホームページ公表： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可）		
<input checked="" type="radio"/> 屋内給水装置の修繕	<input checked="" type="radio"/> 埋設部の修繕	その他（ ）
対応工事種別（新設・改造等）：該当部に○をつけてください。 （ホームページ公表： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可）		
配水管からの分岐～水道メータ	<input checked="" type="radio"/> 新設	<input type="radio"/> 改造
水道メータ～宅地給水装置	<input checked="" type="radio"/> 新設	<input type="radio"/> 改造

※ 公表には、ホームページ等への掲載を含みます。

※ 業務内容に変更が生じた場合は、速やかにその旨を届け出るようお願いします。

給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する国土交通省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名 (公表対象外)	研修会名	受講年月日
鈴木 次郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	〇〇年〇月〇日
県南 一郎	自社内研修 〇〇に関する業務研修	〇〇年〇月〇日
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 自社内研修の場合は申し出のみとし、別途証明の書類や受講の事実を証明する押印は不要です。 </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> e-ラーニング、現地研修会で実施した場合、修了証や修了年月日が明示されたもの（主任技術者証）の写し等を添付してください。添付がない場合、受講実績として認められませんのでご注意ください。 </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ※市町村等で実施されている工事店の講習会の記載が多くみられますが、主任技術者の研修を記載ください。 </div>		
上記内容の公表の可否（公表には、ホームページ等への掲載を含みます。）		
<input checked="" type="radio"/> 可 不可		

外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。

自社内研修については、研修内容を記載してください。

受講者名は、公表の対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

過去 1 年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況（公表対象外）

水道法施行規則 第 36 条

法第 25 条の 8 に規定する国土交通省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メータまでの工事を施工する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないように適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、またはそのものに当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

「配管からの分岐～水道メータ」の工事を施工しないため不要

工事を施工しない場合はチェック欄にレ点

過去 1 年以内の工事实績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか（○×を記入）	資格を有しているか（○×を記入）		工事年度
			保有している資格等※	
県南 太郎	○	○	講習会修了者	00年
鈴木 次郎	○	○	検定会合格者	00年
県南 一郎	○	×		00年
雇用関係又は下請け等も含み、給水装置工事に従事した者の氏名等を記入する。 ※この確認事項については、公表対象外とする。		資格を有していなくても、経験を有していれば記入。		

※以下に示す保有資格等（下線部）を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工（配管技能者、その他類似の名称のものを含む）
- ② 職業能力開発促進法（昭和 44 年法律第 64 号）第 44 条に規定する配管技能士
- ③ 職業能力開発促進法第 24 条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益社団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者（配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定）

資格を証明する書類（資格証等）の写しを添付してください。

「配水管からの分岐～水道メータ」の工事を施工しない場合は、任意の記載となります。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。